

アイデアの名称 子供用セルフレジ

● アイディアの概要

現在多くのスーパーやコンビニエンスストア、洋服店にてセルフレジが導入されている。しかし子供用のセルフレジは見かけない。自分でレジをしたいと駄々をこねる子供もいるだろう。そこで私はスーパーや洋服店などにあるセルフレジを子供用にも作って導入すると良いと考えた。従来のセルフレジはいかにもコンピュータが話して誘導しているという感じがあるが、子供用のセルフレジは、お会計を誘導するアナウンスを子供に人気のキャラクターの声や、各お店のマスコットキャラクターなどに変えて誘導すると子供自身ワクワクしながらお会計ができて、楽しい気持ちのまま親と帰ったり、友達と遊べるはずだ。そして最終的に子供がまたこのお店に来たいと思ってくれると考える。

● ビジネスのイメージ

従来のセルフレジよりも、小学2・3年生と5・6年生の平均身長くらいの大きさにすると利用しやすいと考える。

● アイディアのポイント

① 市場性・実現可能性

購入するのは、大手スーパーやコンビニエンスストア、子供用服専門店などの企業が購入する層となる。買い物カートのように設置したら子供は必ず何度も利用したいと考え、なおかつ誰でも使えるからこのアイデアは採算の見込みは十分あると考える。

② 新規性・独創性

“子供用”という商品は多くあるが“子供用”の機械というのはあまり多くない。そして現在はどこのお店でもセルフレジが当たり前になっている。そのような中子供でも、お会計がスムーズに楽しくできるというのは他にはないアイデアであると考える。

③ アイディアのおもしろさ

今は親が軸のセルフレジ会計であるがこのアイデアは子供が軸となっていて、どちらかという親は見守るほうに自然と回るのではないかと考える。子供が一人で何かできたという成長にもこのアイデアは繋がるはずだ。私はこれがこのアイデアの最大の魅力であると考える。